

2022 年 4 月入学
大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻
博士後期課程学生募集要項

【一般選抜・社会人特別選抜】

2021 年 5 月

大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻

**2022 年度大阪大学大学院医学系研究科
保健学専攻 博士後期課程 学生募集要項**

2022 年度大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻博士後期課程の入学者を次のとおり募集します。
選抜方法は、「一般選抜」と「社会人特別選抜」を実施します。

1. 募集人員

保健学専攻 23 名（社会人特別選抜による 10 名程度を含みます）

2. 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者、又は次の各号のいずれかについて 2022 年 3 月 31 日までに
該当する見込みの者

- (1) 修士の学位又は専門職学位を有する者
- (2) 外国において、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位
又は専門職学位に相当する学位を授与された者
- (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度に
おいて位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課
程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
- (5) 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者
- (6) 外国の学校、(4) の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、大
学院設置基準第 16 条の 2 に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、修士の学
位を有する者と同等以上の学力があると認められた者
- (7) 文部科学大臣の指定した者（平成元年 9 月 1 日文部省告示第 118 号）
 - ① 我が国の大学を卒業し、大学、研究所等において、2 年以上研究に従事した者
で、本研究科において、当該研究の成果等により修士の学位を有する者と同等以
上の学力があると認めた者
 - ② 外国において学校教育における 16 年の課程を修了した後、又は外国の学校が
行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外
国の学校教育における 16 年の課程を修了した後、大学、研究所等において、2
年以上研究に従事した者で、本研究科において、当該研究の成果等により、修
士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者
- (8) 本研究科において、個別の出願資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する
者と同等以上の学力があると認められた者で、2022 年 3 月 31 日までに 24 歳に達する
もの。

注 1) 出願資格 (6)、(7)、(8) により出願しようとする者は、事前に個別の出願資格
審査（「3. 個別の出願資格審査」参照）を行い、合格者のみが出願できます。

注 2) 出願資格 (7) により出願しようとする者は、「3. 個別の出願資格審査」の記も
参照してください。

注 3) 社会人特別選抜を志願することができる者は、上記出願資格のいずれかに該
当する者で、2022 年 4 月時点で、医療・保健・福祉施設、教育研究機関、官公庁、
企業等において 3 年以上（修士修了者は修了後 1 年以上）の実務経験（通算可）
を有するもので、入学後も引き続き在職するものとします。

3. 個別の出願資格審査

「2. 出願資格」の(6)、(7)、(8)により出願を希望する者は、個別の出願資格審査を行いますので、所定の期日までに下記書類を医学系研究科保健学事務室教務係(以下、「教務係」という)へ持参または郵送してください。

受付期間:

持参の場合 2021年6月9日(水)午前9時~2021年6月16日(水)午後3時(期限厳守)
土日祝及び臨時休業日を除き、各日、午前9時~同11時、午後1時~同3時

郵送の場合 2021年6月9日(水)午前9時~2021年6月16日(水)の消印(日本国内に限る)のあるものに限り受理します。必ず「簡易書留」郵便で封筒の表に「後期課程出願資格審査申請書類在中」と朱書きしてください。

宛先 : 〒565-0871 大阪府吹田市山田丘1-7
大阪大学大学院医学系研究科保健学事務室教務係

(出願資格審査申請書類)

《2. 出願資格の(6)、(7)に該当する者》

- 1) 出願資格審査申請書(本研究科所定の用紙)
- 2) 出身大学の卒業証明書及び成績証明書
- 3) 研究業績調書(本研究科所定の様式)
- 4) 既発表の代表論文(原著で査読のある論文)一編
- 5) 在職期間証明書(実務経験のある方。所属長による証明、様式任意)
- 6) 返信用封筒(封筒(長形3号)に申請者の住所、氏名、郵便番号を記載し404円分の切手を貼付)

《2. 出願資格の(8)に該当する者》

- 1) 出願資格審査申請書(本研究科所定の用紙)
- 2) 最終学歴の卒業(修了)証明書又は退学証明書
- 3) 高等学校等卒業後の在籍学校にかかる成績証明書
- 4) 研究業績調書(本研究科所定の用紙)
- 5) 既発表の代表論文(原著で査読のある論文)一編
- 6) 在職期間証明書(実務経験のある方。所属長による証明、様式任意)
- 7) 返信用封筒(封筒(長形3号)に申請者の住所、氏名、郵便番号を記載し404円の切手を貼付)
- 8) 下記Iの(オ)に係る最終学歴(退学を含む)とする者は、当該学校の入学資格、卒業又は修了に必要な修業年数・単位(時間)数のわかる書類

(注1) 出願資格審査申請書の実務経験欄に記載したすべての経歴について、所属長等による証明書を提出してください。

(注2) 書類提出後、必要に応じ個別に書類の追加提出を求める場合があります。

※出願資格審査の結果は、本人に書面(簡易書留)で通知します。2021年7月14日(水)までに審査結果が届かない場合は、医学系研究科保健学事務室教務係(i-hoken-kyomu@office.osaka-u.ac.jp)まで問い合わせてください。問い合わせがない場合は受け取ったものとして取扱います。

修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められる者の個別の入学資格審査

文部科学大臣の指定した者として定める「大学院の入学に関し修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められる者（平成元年9月1日文部省告示第118号）（出願資格(7)を参照）」の文言中、次の文言について、それぞれに規定する解釈により個別の審査を行い、該当することとなっている者を以て適格者とする。

- 1 「大学を卒業し、又は外国において学校教育における16年の課程を修了」とは、本研究科において「大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者の個別の出願資格審査」を行い、適格と判定されたものを加える。（*）
- 2 「大学、研究所等において」とは、短期大学、外国の大学の日本分校、外国人学校その他国内外の教育・研究・臨床施設等を加えることができる。
- 3 「研究に従事」とは、国際的活動、臨床実務に従事した時間を加えることができる。
- 4 既発表の代表論文（原著）一編
- 5 「当該研究の成果等」とは、学術論文、著書、研究発表、特許（実用新案を含む）等のほか国際的活動の実績、教育・研究・臨床施設における特異な実績等をいう。

本研究科において行う「大学を卒業した者と同等以上の
学力があると認められる者の個別の出願資格審査」（*）

I 審査対象者の基準

次の左欄の学校の卒業、修了又は退学者で、右欄の期間の実務経験者を有する者（見込も含む）とする。
※実務経験等の期間とは、次の期間を合算したものをいいます。

最 終 学 歴	実務経験等の期間（※）
（ア）修業年限2年の短期大学の卒業生	2年以上
（イ）修業年限3年の短期大学の卒業生	1年以上
（ウ）高等専門学校卒業生	2年以上
（エ）修業年限が2年以上の専修学校の専門課程の卒業生	大学卒業までの最短修業年数（16年）から専門課程を置く専修学校の修業年限を控除した期間以上
（オ）外国の大学の日本校、外国人学校、専修学校（専門課程を除く）、各種学校その他国内外の教育施設の卒業生又は修了者	大学卒業までの最短修業年限（16年）から最終学校卒業又は修了までの最短修業年数（入学資格を同一とする学校を複数卒業又は修了している場合は、修業年限の最長のもののみ採用）を控除した期間以上
（カ）上記の（ア）から（オ）までに掲げる学校の退学者	大学卒業までの最短修業年限（16年）から当該退学した学校の退学時までの修業年数を控除した期間以上。ただし、退学時までの標準履修単位（時間）数を修得していない場合は、修得単位（時間）数の相当年数を以て修業した年数とします。

- (1) 大学又は短期大学において、研究生として在学した期間
- (2) 短期大学及び高等専門学校に置かれた専攻科等に在学した期間

- (3) 大学・短期大学、官公庁、研究所、会社等の教育又は研究開発部門に教育職又は研究職として研究に従事した期間
- (4) 病院等における臨床実務に従事した期間
- (5) 前各号に定める以外の期間については、当該期間毎に審査し、それぞれに一定の換算率を乗じて得た期間

II 評価の基準

最終学歴、成績、実務経験の内容等を総合的に勘案して行います。

4. 願書受理期間及び提出書類

入学志願者は次に示す「出願に要する書類」等を一括取り揃えのうえ、所定の期日までに教務係へ持参又は郵送してください。

受付期間：

持参の場合 2021年9月3日（金）午前9時～2021年9月10日（金）午後3時（期限厳守）
土日祝及び臨時休業日を除き、各日、午前9時～同11時、午後1時～同3時

郵送の場合 2021年9月3日（金）～2021年9月10日（金）の消印（日本国内に限る）のあるものに限り受理します。本研究科所定の封筒で必ず「簡易書留」郵便としてください。

宛先：〒565-0871 大阪府吹田市山田丘1番7号

大阪大学大学院医学系研究科保健学事務室教務係

なお、出願前に指導を希望する教員と必ず連絡をとり、入学後の研究・教育について相談しておいてください。（別表：「指導教員の研究概要」を参照）その際に、入学願書に指導予定教員の捺印をもらってください。

出願に要する書類等一覧表

書 類	内 容
1. 入 学 願 書	本研究科所定の用紙 ※指導を希望する教員の捺印をもらってください。
2. 志 望 理 由 書	本研究科所定の用紙
3. 受 験 票 ・ 写 真 票	本研究科所定の用紙 ※上半身脱帽正面向きで3か月以内に単身撮影したものを所定欄に貼付してください。
4. 成 績 証 明 書	ア. <出願領域が「看」・「生」・「総」・「放」の場合*> 大学院修士課程（博士前期課程）の成績証明書 [ただし本研究科保健学専攻博士前期課程修了（見込）者は不要] ※編入した者は、編入前の学校の成績証明書も提出してください。 <出願領域が「検」の場合*> 大学院修士課程（博士前期課程）の成績証明書 [ただし本研究科保健学専攻博士前期課程修了（見込）者は不要] および学部の成績証明書 [ただし本学部卒業者は不要]。 ※編入した者は、編入前の学校の成績証明書も提出してください。 イ. 大学改革支援・学位授与機構から修士の学位を授与された者は

	<p>大学（短期大学）以降の全成績証明書</p> <p>ウ. 出願資格（7）、（8）の者は、提出不要です。</p> <p>*出願領域については「別表. 指導教員の研究領域・願書記載時略称一覧」を参照してください。</p>
5. 修士課程修了（見込） 証明書等	<p>ア. 修士課程（博士前期課程）修了（見込）証明書 〔本研究科保健学専攻博士前期課程修了（見込）者は不要〕</p> <p>イ. 出願資格（7）、（8）の者は、提出不要です。</p>
6. 学位授与証明書	<p>大学改革支援・学位授与機構から修士の学位を授与された者のみ提出してください。</p>
7. 修士論文の内容の要旨	<p>修士の学位を有する者</p>
8. 検定料納入証明書	<p>検定料振込依頼書により、検定料 30,000 円を銀行振込（ATM 不可）にて納入し、検定料納入証明書を所定用紙に貼付してください。なお、振込手数料は各自で負担してください。</p> <p>※<u>本学大学院博士前期課程を修了し、引き続き博士後期課程に入学する者は、検定料を納入する必要はありません。</u></p> <p>※<u>国費外国人留学生の検定料の取扱いについては、教務係へ問い合わせてください。</u></p> <p>※大阪大学ホームページに記載している災害により被災した志願者に対し、検定料免除の特別措置を講じます。 (https://www.osaka-u.ac.jp/ja/admissions/information) 詳しくは上述ホームページを確認してください。この場合の出願については本要項に記載の問い合わせ先に問い合わせてください。</p> <p>納入済の検定料は返還しません。ただし、次の場合により検定料を振り込まれた場合は、検定料を返還します。</p> <p>①出願したが受験資格がなかった場合 ②出願書類受付期間後に出願書類が到着し、受理されなかった場合 ③出願書類に不備があり受理されなかった場合 ④検定料を払い込んだが出願しなかった場合 ⑤検定料を誤って二重に振り込んだ場合</p> <p>返還請求については、下記へ申し出てください。 大阪大学大学院医学系研究科保健学事務室教務係 (i-hoken-kyomu@office.osaka-u.ac.jp)</p>
9. 発 送 票	<p>本研究科所定の用紙</p> <p>※住所を変更した場合は、早急に教務係に連絡してください。</p>
10. 受験票送付用封筒	<p>封筒（長形 3 号）に入学志願者の氏名、住所及び郵便番号を明記し、404 円分の郵便切手を貼付してください。</p>
11. 住民票の写し	<p>外国人の志願者は、市区町村長発行の在留資格及び在留期間を明記した「住民票の写し」を提出してください。</p> <p>外国人登録証明書（カード）・在留カードではありません。</p> <p>※出願者以外の世帯員については、証明不要です。</p> <p>（注）法務大臣が日本での永住を認めた者については、提出する必要はありません。</p>

12. 戸籍抄本	結婚等で現在の姓が各証明書類と異なる方は提出してください。(卒業証明書・成績証明書等記載氏名との確認のため) ※本学卒業者であっても該当する場合は提出が必要です。
13. 出願資格(6)に相当する審査合格確認(証明書類(出願資格(6)により出願する場合のみ該当))	<ul style="list-style-type: none"> 出身大学長等が作成(署名)したもので、下記の内容が記載されたものを提出してください。 【様式例】□□大学としては、本学の学生である◇◇◇◇氏は、「(審査名称)」に合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力を有する者であることを確認し、報告いたします。また、当該審査に関する以下の添付資料を同封します。 【添付資料の例】 当該審査の合格の基準 当該審査の合格と当該大学における修士の学位の授与要件の関係を示す資料 当該審査に合格した者と当該大学に編入学した他の大学の修士の学位を有する者の当該大学における博士の学位を授与するプログラムにおける取扱いの関係を示す資料

社会人特別選抜の志願者は、前記に併せて次の書類を提出してください。

14. 在職期間証明書	実務経験等を3年以上有することの所属長による証明(様式任意) ※出願資格(7)、(8)の者は、提出不要です。
15. 受験許可書 (入学承諾書)	出願時、医療・保健・福祉施設、教育研究機関、官公庁、企業等に勤務し、入学後も引き続き在職する者。

※出願に際しての注意事項

- 1) 出願書類に不備がある場合は、原則として受理しません。また、出願後は原則として記載事項の変更は認めません。
- 2) 受理した出願書類は、理由のいかんにかかわらず一切返還しません。
- 3) 障がい等のある方で、受験及び修学に際して特別な配慮を希望する者は、出願前に教務係に相談してください。
- 4) 入学願書の履歴、入学資格等につき虚偽の記載をした者は、入学決定後であっても入学の許可を取り消すことがあります。

5. 志望研究領域の選定

志願者は、別表「指導教員の研究領域・願書記載時略称一覧」に示す研究領域の中から1研究領域を選んでください。

6. 長期履修学生制度

職業を有している等の事情により、標準修業年限を超えて計画的に教育課程を履修することを希望する者は申請することができます。詳細は、保健学専攻ホームページの入学手続き案内ページ(1月上旬公開予定)にてご案内いたします。

7. 試験日程・試験場所

試験日	時間	試験内容	場所
2021年11月5日(金)	9:30~11:30	学力検査	大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻 吹田市山田丘1-7
	13:00~18:00	口述試験	

8. 入学者選抜方法

入学者の選抜は、学力検査及び口述試験の結果、並びに成績証明書等の内容を総合して行います。

(1) 一般選抜

1) 学力検査科目

外国語（英語）：100点

※外国語（英語）では全員に英和辞書を貸与します。英和辞書の代わりに、英英辞書の貸与を希望する者は、入学願書のチェック欄にチェックしてください。

2) 口述試験：100点

志望する研究領域に関する実践能力、研究能力等について個別に口述試験を行います。

口述試験の発表方法（パソコン等の使用機器）にあたっては、分野により異なりますので、詳細は指導を希望する教員と必ず打ち合わせしてください。

修士論文あるいは、これまでの研究内容について発表し、それをもとに質疑応答を行います。

(2) 社会人特別選抜

1) 学力検査科目

外国語（英語）：50点

※外国語（英語）では全員に英和辞書を貸与します。英和辞書の代わりに、英英辞書の貸与を希望する者は、入学願書のチェック欄にチェックしてください。

2) 口述試験：100点

口述試験の内容は、一般選抜と同じ。

9. 受験に際しての注意事項

- (1) 試験に関する注意事項（試験室配置図及び受験者心得等）を受験票と共に返信用封筒にて試験日の一週間前までに郵送します。また11月4日（木）13時より、保健学専攻正面玄関前に掲示します。
- (2) 試験当日は、指定された座席に試験開始15分前に着席してください。
- (3) 受験に際しては受験票を必ず持参してください。なお、受験票は入学に関する諸手続にも必要なので、紛失しないよう大切に保管しておいてください。
- (4) 受験のための宿泊施設等の斡旋はしません。
- (5) 自家用自動車及びオートバイ（原動機付自転車を含む）での大学構内への入構はできません。
- (6) 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、入試日程や試験内容に変更が生じる可能性があります。その場合は、本研究科ウェブサイト事前に掲載しますので、適宜確認をしてください。

10. 合格者発表

2021年11月12日（金）13時30分

医学系研究科保健学専攻ウェブサイト合格者の受験番号を掲載するとともに、合格通知書を出願時に提出された「発送票」の住所へ簡易書留郵便で送付します。電話等による可否の問い合わせには一切応じません。（不合格者への通知は行いません。）

なお、入学手続きについては、2022年1月上旬に保健学科ホームページにて通知します。

11. 個人情報の取扱いについて

- (1) 出願時に提出された氏名、住所、その他の個人情報については、「入学者選抜（出願処理、

選抜試験実施)、「合格者発表」及び「入学手続」等の入試業務を行うために利用します。なお、入学者については、「教務関係(学籍管理、修学指導等)」、「学生支援関係(健康管理、授業料免除・奨学金申請、就職支援等)」及び「授業料収納に関する業務」を行うためにも利用します。

- (2) 入学者選抜に用いた試験成績等の個人情報は、「入試結果の集計・分析」「入学者選抜方法の調査・研究」及び「学生支援関係(奨学金申請等)」のために利用します。
- (3) 前記の(1)及び(2)の業務を行うに当たり、一部の業務を外部の事業者へ委託する場合があります。この場合、外部の事業者と個人情報の取扱いが適切に行われるよう契約を結んだ上で、当該事業者に対して、提出された個人情報の全部または一部を提供します。

1 2. 入学料及び授業料

- 1) 入学料……282,000 円
- 2) 授業料……年額 535,800 円〔半期 267,900 円〕

※本学大学院博士前期課程、修士課程又は法科大学院の課程を修了し、引き続き博士後期課程に入学する者は、入学料を徴収しません。

※入学料、授業料の金額については変更することがあります。

在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。

1 3. 大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻への道順

○利用交通機関

[バス] 阪急バス 千里中央発「阪大本部前行」又は「茨木美穂ヶ丘行」
近鉄バス 阪急茨木市駅発「阪大本部前行」(JR 茨木駅経由)
いずれも阪大本部前下車、徒歩約 5 分

[モノレール] 大阪モノレール 阪大病院前下車(西へ徒歩約 15 分)

[電車] 阪急電車千里線 北千里駅下車(東へ徒歩約 25 分)

○キャンパスマップ



医学系研究科
 保健学専攻試験会場

【問い合わせ先】
 大阪大学大学院医学系研究科 教務係
 〒565-0871 大阪府吹田市山田丘1番7号
 電話： 06-6879-2512
 E-mail： i-hoken-kyomu@office.osaka-u.ac.jp

大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻博士後期課程概要

1. 保健学専攻アドミッション・ポリシー

大阪大学は、教育目標に定める人材を育成するため、学部又は大学院の教育課程等における学修を通して、確かな基礎学力、専門分野における十分な知識及び主体的に学ぶ態度を身につけ、自ら課題を発見し探求しようとする意欲に溢れる人を受け入れます。このような学生を適正に選抜するために、研究科・専攻等の募集単位ごとに、多様な選抜方法を実施します。

大阪大学のアドミッション・ポリシーのもとに、保健学専攻博士前期課程では、これからの日本、そして世界における保健・医療・福祉のさまざまな課題を、リサーチマインドをもって探求、解決に努力する、臨床実践者、臨床科学技術者、研究者、教育者を目指す人を求めています。医学分野だけでなく多様なバックグラウンドをもつ学生が共に学ぶことにより、画期的な発想が生まれ、高い専門性と豊かな人間性が培えると考えます。医療専門職としてチーム医療や地域医療でリーダーシップをとることができる人材や、保健医療科学の研究者として研究開発を行う人材には、広い視野と柔軟な理解力が必要であり、基本的な英語力は必須です。急速に高齢化が進むわが国で、人々の健康の増進に貢献したいという情熱のある人、新たな技術の開発に向けた研究を行う気概のある人を求めています。

博士後期課程では、保健医療科学の分野で、グローバルな知識を持ち、国際的なリーダーシップを発揮できる研究者の育成を目的としています。そのためには、豊かな語学力とともに、新たな分野を萌芽的な段階の研究から切り開いていく能力、自らの専門分野にとどまらず他領域との融合による新たな展開を図る能力など、高度のデザイン力が必要とされます。また、保健・医療・福祉の研究では高い倫理観を持つことも大切です。医療界のみならず産業界からも期待され、将来の保健医療福祉分野において国際的な貢献を目指す、多角的な視野を持つ人を求めています。

2. 課程

博士課程は、前期2年の課程及び後期3年の課程と区分し、前期課程は、修士課程として取り扱います。

前期課程は、広い視野に立って精深な学識を授け、統合保健看護科学及び医療技術科学分野における研究能力又は高度の専門性を要する職業等に必要の高度の能力を養うことを目的としています。

後期課程は、統合保健看護科学及び医療技術科学分野の研究者として自立して研究活動を行い、又はその他の高度に専門的な業務に従事する必要の高度の研究能力及びその基礎となる豊かな学識を養うことを目的としています。

希望者はがん医療に関わる専門職・研究者を養成する教育・研究コース（がんプロコース）を履修できます。これは我が国のがん医療の状況を改善するため平成18年度に制定された「がん対策基本法」第14条に定められている「がん医療に携わる専門的な知識及び技能を有する医療従事者の養成を図るために必要な施策」の文部科学省の教育プログラムとして平成19年度からスタートしました。平成29年度からは「多様な新ニーズに対応するがん専門医療人材（がんプロフェッショナル）養成プラン」として継続しています。保健学専攻では医学物理学、細胞診断学を研究するコースがあります。入学後、これらのコース志望の大学院生は他の学生と別のカリキュラムを受講してもらいます。医学物理士コースは入学後のコース選択となります。詳細は「ゲノム世代高度がん専門医療人の養成」ホームページ <http://www.osaka-ganpro.jp/> を参照して下さい。

※がんプロコースを志望する学生は、出願に先立ち、下記の担当教授に必ず問い合わせてください。

医学物理学 小泉雅彦教授 mail: koizumi@sahs.med.osaka-u.ac.jp

細胞診断学 山本浩文教授 mail: hyamamoto@sahs.med.osaka-u.ac.jp

また、令和4年度から、臨床工学技士指導者を目指す研究者を育成するプログラムを履修できま

す。これは、今後の医療のニーズに応える目的で、臨床工学技士育成の指導者数が十分でない現状を打開するために臨床工学を極めた指導者を養成するプログラムとなります。大学院後期課程入学後、保健学研究プログラムで定める授業のほかに別のカリキュラムを受講します。詳細は、「[臨床工学技士指導者育成プログラム](#)」のページを参照してください。また、志望する学生は出願に先立ち下記の担当教授に必ず問い合わせてください。

プログラム責任教員 上野高義教授 mail : uenotm@sahs.med.osaka-u.ac.jp

(1) 社会人の修学上の便宜

社会人特別選抜で入学した者に対し、社会人としての職務の遂行と本専攻での履修が両立するよう大学院設置基準第14条特例を実施し、授業科目の夜間・土曜日の開講により修学上の便宜を図ります。

また、研究指導は、夜間・土曜日、夏季・冬季休業期間等に行うほか、情報ネットワークを利用して行うこともあります。

履修計画については、指導教員のもとに作成します。

(2) 修了の要件

- 博士後期課程に3年以上在学し、授業科目について所定の単位を修得し、かつ必要な研究指導を受け、博士論文の審査及び最終試験に合格しなければなりません。ただし、在学期間に関しては、特に優れた研究業績を上げた者については、研究科教授会が認めた場合に限り、修士課程又は前期課程における2年の在学期間と通算して3年以上在学すれば足りるものとします。

○ 所定の単位の修得方法

- ・ 指導教員による講義（特講） 必修2単位
- ・ 指導教員の指示した講義 選択必修2単位以上
(臨床工学技士指導者育成プログラムは6単位以上)
- ・ 指導教員による演習（特講演習） 必修2単位
- ・ 特別研究 必修4単位

(3) 学位

本課程を修了した者には、学位規則（昭和28年文部省令第9号）の定めるところにより、博士（保健学）又は博士（看護学）の学位を授与します。

別表. 指導教員の研究領域・願書記載時略称一覧(博士後期課程)

研究テーマ・連絡先は、大阪大学医学系研究科保健学専攻HP
研究室・部門 のページをご覧ください。

URL : <https://sahswww.med.osaka-u.ac.jp/jpn/departments/>

保健学研究プログラム

研究領域 [研究室名]	研究領域 (願書記載時)	氏名	研究内容
看護実践開発科学 1 [周手術期管理学研究室]	看1	上野 高 義	手術前から術後までのQOL向上に結び付く 新たな看護管理スキルの創出
看護実践開発科学 2 [急性期・緩和ケア学研究室]	看2	荒尾 晴 恵	がん看護、緩和ケア、症状マネジメント、 End-of-Life Care、がんサバイバー支援
看護実践開発科学 3 [慢性疾患看護学研究室]	看3	清水 安 子	慢性疾患患者のセルフケア支援や 看護システムに関する研究
看護実践開発科学 4 [精神保健看護学研究室]	看4	武用 百 子	精神的諸問題を持つ患者へのセルフケア支援 惨事ストレス、援助者の共感疲労
看護実践開発科学 5 (臨床工学技士指導者育成プログラム)	看5	上野 高 義	臨床工学に基づいた実臨床に結び付く技術の開発
看護実践開発科学 6 [老年看護学研究室]	看6	竹屋 泰	老年医学、老年看護学、医看連携、ICTを用いた 多職種連携の中での看護師の役割
生命育成看護科学 1 [成育小児科学研究室]	生1	酒井 規 夫	先天代謝異常症に対する治療法の開発 先天異常に対する疫学研究
生命育成看護科学 2 [小児・家族看護学研究室]	生2	山崎 あ け み	小児看護に関する研究、およびファミリー インタビュー・dyadic dataによる研究
生命育成看護科学 3 [母性胎児科学研究室] [再生誘導医学協働研究所]	生3	遠藤 誠 之	再生誘導医学の臨床応用と基礎的研究 子育てをしやすい社会を医療・文化・社会の 視点から超域的に研究する
生命育成看護科学 4 [助産学・リプロダクティブヘルス研究室]	生4	松崎 政 代	母乳育児の支援方法や母児・女性に最適な 生活習慣の解明
生命育成看護科学 5 [ウィメンズヘルス科学研究室]	生5	渡邊 浩 子	妊孕世代の女性の健康支援、育児支援、 次世代の健康確保に関する研究
総合ヘルスプロモーション科学 1 [公衆衛生看護学研究室]	総1	岡本 玲 子	公衆衛生看護の技術開発と普及・評価 根拠に基づく保健事業・政策の実装科学
総合ヘルスプロモーション科学 2 [ヘルスプロモーション・システム科学研究室]	総2	神出 計	健康長寿の要因の探求、生活習慣病の予防・ 治療、在宅要介護高齢者のケアシステム
総合ヘルスプロモーション科学 3 [地域ヘルスケアシステム科学研究室]	総3	小西 か お る	地域在宅看護学領域におけるヘルスケア システムの構築に関する研究

研究テーマ・連絡先は、大阪大学医学系研究科保健学専攻HP
研究室・部門 のページをご覧ください。

URL : <https://sahswww.med.osaka-u.ac.jp/jpn/departments/>

保健学研究プログラム

研究領域 [研究室名]	研究領域 (願書記載時)	氏名	研究内容
総合ヘルスプロモーション科学4 [看護管理科学研究室]	総4	井上 智子	看護の質に係る技術・教育・現状分析
総合ヘルスプロモーション科学5 [包括看護科学研究室]	総5	樺山 舞	生活習慣病の予防、健康に関わる社会要因の検討 多機関・多職種連携の推進
総合ヘルスプロモーション科学6 [公衆衛生看護科学研究室]	総6	蔭山 正子 [高等共創研究院]	精神障がい者の家族支援や恋愛・結婚・育児支援 精神保健、母子保健、保健師の支援技術
連携分野	先進医療・臨床試験科学 ＜連絡教員：渡邊 幹夫＞	看7 調整 中 [国立循環器病研究センター]	新規医療技術の評価方法としての臨床研究の 立案、実施等に関する理論と技術を学ぶ
	多職種チーム医療に基づくがん医療学 ＜連絡教員：三善 英知＞	看8 山口 建 北村 有子 [静岡県立静岡がんセンター]	医療情報に基づくがん医療支援に関する研究
	移植コーディネーター学 ＜連絡教員：上野 高義＞	看9 福 嶋 教 偉 [国立循環器病研究センター]	移植コーディネーターに必要な、臓器移植の 基本的知識、技術を探求する
	がん統計・インフォマティクス ＜連絡教員：三善 英知＞	看10 片野田 耕 太 [国立がん研究センター]	がん統計情報の総合的な解析 がん対策の系統的かつ科学的評価
●機能画像クラスター			
医療画像技術科学1 [分子イメージング学研究室]	放1	福地 一 樹	核医学、分子イメージングによる生体機能計測、 画像化技術に関する研究
医療画像技術科学2 [生体機能イメージング研究室]	放2	小山内 実	脳・神経系機能解明のためのマルチスケール・ マルチモーダルイメージング
●放射線治療クラスター			
医療画像技術科学3 [医学物理学研究室]	放3	西尾 禎 治	粒子線治療に関する医学物理学研究 線量計測システム・検証ソフトウェアの研究開発
医療画像技術科学4 [放射線腫瘍学研究室]	放4	小泉 雅 彦	がんの放射線治療の基礎の放射線腫瘍生物学
●画像解析クラスター			
医療画像技術科学5 [画像定量解析学研究室]	放5	田中 壽	中枢神経系・筋肉のMRIの撮影方法の研究、 生理的機能の解明、臨床応用
医療画像技術科学6 [医用光学研究室]	放6	近江 雅 人	光断層イメージング(OCT)の開発と表皮下 生理機能解析・皮膚科分野への応用研究

研究テーマ・連絡先は、大阪大学医学系研究科保健学専攻HP
研究室・部門 のページをご覧ください。

URL : <https://sahswww.med.osaka-u.ac.jp/jpn/departments/>

保健学研究プログラム

研究領域 [研究室名]	研究領域 (願書記載時)	氏名	研究内容
<p>●画像情報クラスター</p> <p>医療画像技術科学 7 [病態超音波医学研究室]</p> <p>医療画像技術科学 8 [画像科学技術研究室]</p> <p>●その他</p> <p>医療画像技術科学 9 (臨床工学技士指導者育成プログラム)</p>	<p>放7</p> <p>放8</p> <p>放9</p>	<p>鎌田 佳宏</p> <p>石田 隆行</p> <p>近江 雅人</p>	<p>超音波検査を用いた消化器疾患の研究 消化器疾患の基礎・臨床研究</p> <p>人工知能(AI)・高度画像処理の医療応用</p> <p>臨床工学に基づいた実臨床に結び付く技術の開発</p>
<p>連携分野</p> <p>医療画像技術科学 10 (分子イメージング学) <連絡教員: 福地 一樹></p> <p>医療画像技術科学 11 (粒子線治療学) <連絡教員: 小泉 雅彦></p> <p>医療画像技術科学 12 (粒子線治療学) <連絡教員: 西尾 禎治></p> <p>医療画像技術科学 13 (臨床放射線治療物理学) <連絡教員: 小泉 雅彦></p> <p>多職種チーム医療に基づくがん医療学 <連絡教員: 三善 英知></p>	<p>放10</p> <p>放11</p> <p>放12</p> <p>放13</p> <p>放14</p>	<p>調整中 【国立循環器病研究センター】</p> <p>沖本 智昭 赤城 卓 【兵庫県立粒子線医療センター】</p> <p>金井 達明 【大阪重粒子線センター】</p> <p>小西 浩司 【大阪国際がんセンター】</p> <p>山口 建 北村 有子 【静岡県立静岡がんセンター】</p>	<p>粒子線治療の臨床研究 治療装置の運用効率化に関する物理工学研究</p> <p>粒子線(炭素イオン)治療の物理工学、及び、 生物物理工学研究</p> <p>強度変調放射線治療法の開発・二重エネルギー CTの治療応用などに関する臨床研究</p> <p>医療情報に基づくがん医療支援に関する研究</p>
<p>医療検査技術科学 1 [心血管代謝学研究室]</p> <p>医療検査技術科学 2 [臨床神経生理学研究室]</p> <p>医療検査技術科学 3 [分子病原微生物学研究室]</p> <p>医療検査技術科学 4 [分子生化学研究室]</p>	<p>検1</p> <p>検2</p> <p>検3</p> <p>検4</p>	<p>木原 進士</p> <p>高橋 正紀</p> <p>戸邊 亨</p> <p>三善 英知</p>	<p>心筋梗塞や脳梗塞の予防につながる新たな 診断法の開発をめざした動脈硬化の研究</p> <p>中枢神経・骨格筋の生理・病態・臨床研究、 イオンチャネルの生物物理学的研究</p> <p>病原性大腸菌の感染機構と病原性獲得の 分子レベルでの解析</p> <p>疾患関連糖鎖の機能解析 糖鎖バイオマーカーの開発</p>

研究テーマ・連絡先は、大阪大学医学系研究科保健学専攻HP
研究室・部門 のページをご覧ください。

URL : <https://sahswww.med.osaka-u.ac.jp/jpn/departments/>

保健学研究プログラム

研究領域 [研究室名]	研究領域 (願書記載時)	氏名	研究内容
医療検査技術科学 5 [再生発生医学研究室]	検5	辻川 元一	眼の再生医療の開発と発生の研究 眼科疾患の病態の遺伝学的検討
医療検査技術科学 6 [免疫造血制御学研究室]	検6	尾路 祐介	白血病や固形癌におけるWT1遺伝子研究に 基づく癌免疫治療および分子標的治療の開発
医療検査技術科学 7 [分子病理学教室]	検7	山本 浩文	分子生物学的な手法を用いて癌に対する診断・ 治療に関する研究
医療検査技術科学 8 [予防診断学研究室]	検8	渡邊 幹夫	ゲノム・エピゲノム情報を応用した病態寄与 因子の解明と臨床検査への応用
医療検査技術科学 9 (先進的病理細胞診研究者養成コース)	検9	山本 浩文 南 雲 サチ子	細胞形態学、分子生物学に基づく新たな 細胞診断に関する研究
医療検査技術科学 10 (臨床工学技士指導者育成プログラム)	検10	三善 英知	臨床工学に基づいた実臨床に結び付く技術の開発
連 携 分 野	医療検査技術科学 11 (睡眠医学) ＜連絡教員：高橋正紀＞	検11 立花 直子 【関西電力医学研究所】	睡眠関連疾患に対する睡眠・覚醒モニタリングの 研究
	先進医療・臨床試験科学 ＜連絡教員：渡邊幹夫＞	検12 調整 中 【国立循環器病研究センター】	新規医療技術の評価方法としての臨床研究の 立案、実施等に関する理論と技術を学ぶ
	がん統計・インフォマティクス ＜連絡教員：三善英知＞	検13 片野田 耕太 【国立がん研究センター】	がん統計情報の総合的な解析 がん対策の系統的かつ科学的評価
	多職種チーム医療に基づくがん医療学 ＜連絡教員：三善英知＞	検14 山口 建 北村 有子 【静岡県立静岡がんセンター】	医療情報に基づくがん医療支援に関する研究

※「調整中」の領域については、指導教員不在のため記載できません。